

一太郎青空文庫形式ルビ

ダウンロードしたファイルを解凍すると一太郎のアイコンになる。

そのアイコンをクリックして文書を開き、ダイアログで「yes」を選択してクリックすると、Autoloadマクロが実行され、「ルビ付与マクロ」が自動登録される。

(マクロの文面の文書データをコピーし、マクロの編集画面にペーストしても登録できる。)

〔マクロの実行〕

青空文庫形式 (txt形式) の文書を一太郎で開き。

(一太郎の画面に青空文庫形式 (txt形式) の文書をドラッグ&ドロップするのが手っ取り早い)

ルビ付与マクロの実行は、「マクロの実行方法」を確認。

マクロを実行すると、最初に確認用のダイアログが表示される。

このダイアログで「可視実行」又は「不視実行」の何れかの実行形態を選択できる。

(Ver2.3からルビ付与マクロを実行開始時に「可視実行」又は「不視実行」を選択できる)

「可視実行」はマクロの実行中の経過をモニタに表示し、「不視実行」はマクロの実行中の経過をモニタに表示しない。

「不視実行」は「可視実行」より処理時間が短縮。

ルビを付与する処理では、ルビ以外に、傍点と、傍線も付与。

これ以外何もしない (記号や、注釈等は、そのまま残す)。

※傍点・丸傍点・白丸傍点の何れも、区別せず"、" を付す処理を行う。

※傍線・二重傍線の何れも、区別せず傍線を付す処理を行う。

※処理速度は遅い。実行時にキー操作により、処理を停止できる。

※マクロの実行後には、一太郎形式 (jtd) で保存すること。

※ルビのサイズ/フォントは、ルビ付与の後に、「書式」→「ふりがな」→「書式を揃える」 で変更できる。

※縦書き文書に変換する場合には、文書スタイルから縦組を選択。